広報つなぎ 2月 No.265
昭和63年
発行／津奈木町 編集／企画課 印刷／水俣旭印刷所
人口と世帯（1月1日現在）人口6,090（－3）・男2,907（0）・女3,183（－3）・世帯1,717（＋1）（　）内は前月との比較

今年の産業祭はひと味ちがいますからみんなででてきて下さい

▷13日(土) AM9:00よりPM5:00まで
▶14日(日) AM8:30よりPM3:00まで

第五回津奈木町産業祭が二月十三日、十四日の二日間、三年ぶりに開催されます。今回も各組合、商工会、各種団体の協力をえて、前回より一層充実したものにと関係者一同大はりきり。バザー部門でも寿司から焼き肉、うどん等、又、植木市場も前回より大規模に計画――。ぜひ皆さん連れ立って遊びに来て下さい。

産業祭の主会場をB&G体育館と改善センターの二ケ所で開催します。町民皆様のご賛同とご協力を戴き、多くの創作品の出展を期待し、産業の振興と豊かで活力に満ちた町づくりを推進したく次のとおり産業祭を開催します。

一、部門別出品の概要

●**果樹部門**
本町で生産された温州、甘夏、ネーブル、伊予柑、雑柑類のほか新品種、優良品の展示及び即売。出品点数約九十点

●**普通作・特作部門**
穀類、野菜、グリーンアスパラガスの展示及び野菜類の即売、出品点数約百二十点

●**農具部門**
一般農機具等の展示

●**畜産部門**
焼き肉コーナー

●**森林部門**
山林用機械、機具の展示及びチエンソー目立講習、林産物、間伐材利用作品、木工品の展示及び即売その外アトラクションとして丸太切競争等。

●**水産部門**
本町で水揚された鮮魚、干物加工品、小型船舶及び機械等の展示即売。

●**商工部門**
会員による酒類や他商品並びに自動車等の展示即売。

●**郷土文化部門**
役場を開放して庁舎内に裸婦像や絵画等の美術品を展示。

●**民芸及び生活改善部門**
伝統民芸品、焼物等の展示即売、生花やアートフラワー、及び生活改善による廃物利用品の展示。

●**絵画展**
坂本善三氏と井山忠行氏の作品を展示。

●**青年館**
青年団による二十一世紀の津奈木町の想像模型及び子供達を集めて竹細工の実技指導。

●**その他の催し物**
(一) バザー（各校区婦人会外）
(二) アマチュア無線コーナー
(三) NTT、電信電話コーナー

二、開催要領

●**出品物搬入及び展示準備**
二月十一日午前九時から
二月十二日午前十一時まで受付

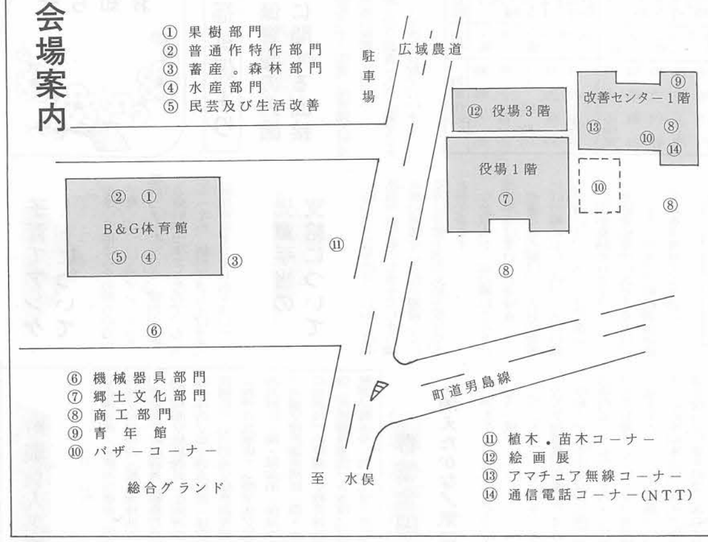
●**審査**
二月十二日午前一時から

●**開会・表彰式**
二月十三日午前八時三十分から

●**一般観覧**
二月十三日　午前九時から午後五時まで
二月十四日　午前八時三十分から午後三時まで

●**撤去**
二月十四日　午後三時から午後六時まで
当日は、御家族御近所お誘い合わせの上御来場戴き、御鑑賞御観覧下さいます様御案内申上げます。

会場案内



① 果樹部門
② 普通作特作部門
③ 畜産部門
④ 水産部門
⑤ 民芸及び生活改善
⑥ 機械器具部門
⑦ 郷土文化部門
⑧ 商工部門
⑨ 青年館
⑩ バザーコーナー
⑪ 植木・苗木コーナー
⑫ 絵画展
⑬ アマチュア無線コーナー
⑭ 通信電話コーナー（NTT）

緑と彫刻のある町づくりシンポジウム つなぎ'88

細川県知事を迎え二月十五日に"二十一世紀へ、つなぎ文化を拓く"と題してシンポジウムが開催されます。講師に平野敏也氏（熊日新聞博物館長）を迎えての基調講演「二十一世紀へ向けた町づくり」。ゲストに石原昌一氏（熊大教授・彫刻家）角南勇三氏（県環境文化企画室長）井山忠行氏（町在住画家）を迎えてのパネルディスカッションが行なわれます。

鬼火焚きで無病息災

正月気分にピリオド

去る一月七日、町内の各地区で今年一年の無病息災を祈る"鬼火焚き"が行なわれた。

ここ中尾・本木地区でも、野崎末義さんを中心に毎年行なわれているそうで、今年で十年目を迎えるとのこと。"鬼火焚き"は本来、正月の火祭りとして、門松、竹、注連縄（しめなわ）などを持ちよって火を燃やすのだが、このところめっきり、門松を立てる家庭も少なくなり、やぐらのほとんどは、大人に混じって子供達が近くの山から杉の葉、樫、竹などを、汗だくになりながら担んだ。

午後五時六メートルに組まれたやぐらに点火、火はたちまち、天をも焦がす勢いで燃えあがり、煙と一緒に火の粉を噴きあげた。このあと鬼火焚きの火で、もちや、いわしを焼いたり、焼酎を酌み交わしたりして話が弾んでいた。

炎の中、時折、竹のはぜる「パーン」という音が、あたり一面に響きわたり、正月気分にピリオドをうつ――。

二月の行事

二月の行事
五日　健康づくり推進大会（一四日まで）
一三日　津奈木町産業祭（一四日まで）
一四日　熊日郡市対抗駅伝大会
一五日「緑と彫刻のある町づくりシンポジウム」　芦北町
一六日　所得税の確定申告始まる（三月一五日まで）
二六日　納税相談　場所　役場三F会議室
二八日　第九回体力つくり普及大会　芦北町
二九日　春季全国火災予防運動（三月一三日まで）
――◇――
三月五日　町営竹中団地入居者募集（裏面参照）

細川県知事を迎え
緑と彫刻のある町づくりシンポジウム'88
2月15日 13:00より 改善センター

昭和62年度11月診療費速報

	一般	県下の順位	退職者	県下の順位	老人保健	県下の順位
被保険者数	人 2,466		人 280		人 540	
受診者数	人 936		人 156		人 348	
受診率	% 138	2	% 146	17	% 151	4
一人当りの医療費	円 28,362	23	円 31,886	47	円 58,467	61

「国保が見守る健康一家」

津奈木町国民健康保険

月刊 町 23

浦河聖美さんん
S39・9・6生まれ 23歳
血液型 B型

趣味は
自分で作詩して、それにキーボードで音を乗せ、曲をつくることメロディアスな感じがどちらかといったら好みです。

旅行はどこへ行きたい
フランスへ行ってみたいですネ。パリの石だたみを歩いて、いろんな所を見て歩きたい――。

読書は好きですか
本を読むのは好きです。最近では赤川次郎の小説はほとんど読んでしまいました。

理想のタイプは
いつまでも少年ぽい人で何かひとつ輝いてるものをもっている人がいいです。

結婚について
あと二、三年のうちにはしたいですね。平凡でもあたたかい家庭をつくるのが理想。よく人からは日本的だと言われます。悪く言えば古くさいんですが――。

所得税の確定申告は正しく、お早めに

昭和六十二年分の所得税の確定申告は、二月十六日から始まり、申告期限は三月十五日です。

確定申告書は一申告書の書き方」や「所得税の確定申告の手引き」を参考にして、昨年一年間の所得と税額を正しく計算して記載し、お早めに申告と納税を行って下さい。

なお、事業所得・不動産所得又は山林所得のある白色申告者の方は、「確定申告書に「収支内訳書」を添付することが義務付けられていますので、ご注意下さい。

次の日程で納税相談を行いますので、所得の計算の仕方や申告書の書き方等でお分かりならない方は、御来場下さい。

一、期　日
二月二十六日（金）
二、場　所
津奈木町役場三階会議室
三、時　間
午前九時より午後五時まで

※申告のことでお分かりにならないことがありましたら税務署や税務相談室でお尋ね下さい。

サラリーマンの確定申告

昭和六十二年の所得税の確定申告は、二月十六日から受付が始まります。

サラリーマンでも確定申告をしなければならない場合があります。

＜確定申告をしなければならない人＞
①給与所得や退職所得金額の合計額が二十万円を超える人
②給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が二十万円を超える人
③給与の支払いを二か所以上から受けている人など

◇　◇

所得税の確定申告の期間は、二月十六日から三月十五日までですが、還付を受けるための申告は、二月十六日前でも受け付けています。正しい申告を期限内に済ませるようにしましょう

なお、分からない点がありましたら、お気軽に税務署か税務相談室にお尋ねてください。

健康づくり推進大会
――100m平泳ぎ――
ミュンヘンオリンピック　金メダリスト
田口信教先生（鹿屋体育大講師）講演会
「スポーツの魅力」　2月5日(金)14:00~15:30
場所：津奈木町改善センター

お知らせ

日時	会場	対象地区
2月5日（水）9時～15時	海洋センター一室	浜崎 倉谷 竹内 野田 中尾 上下門 川内
2月4日（火）9時～15時	海洋センター会議室	福浦 大泊 平下 古川 平辻 新川 日当 桜戸 日添 小津奈木

福祉係より

保育園の入園に関する面接

昭和六十三年度、保育園入所希望児童の保護者に対する"聞き取り調査（入所に関する面接）"をの日程で行います。

なお、保育園入所申請書の受付は二月一日から三月一五日までです。

添付書類の一つに町民税及び固定資産税課税台帳記載事項証明等が必要です。尚、必ず保護者が町民課へ提出して下さい

◎給与支払明細書（源泉徴収票）のある人は必ず添付して下さい。

◎入所申請用紙は役場町民課、各保育所、各民生委員宅にあります

詳しくは、町民課福祉係へお問い合わせ下さい。

☎ 七八―三一一一内線一一二

子育てアンケートについて

小さい子供さんをお持ちの方へ子育てについてのアンケートを集計しましたところ、育児の為に役る資料が出来ましたので、もし、よかったら、無料でさし上げます。（両保育園まで申し出下さい）

児童手当の支給について

昭和六十三年四月一日からは義務教育就学前の児童を含む十八歳未満の児童を二人以上養育している方は児童手当の支給を受けることができます。

なお収入が一定の額以上の方は児童手当は受けられません。

児童手当の額は、二人目の児童には月額二五〇〇円、三人目以降の児童には、一人につき月額五〇〇〇円が支給されます。

受給資格要件に該当する方は、三月三十一日までに町民課福祉係で手続をすませてください。

入居者募集

町営竹中団地

◎入居資格
町内及び他の市町村に住所又は、勤務先があり、収入があること。住宅に困窮していることが明らかであること等。

◎入居戸数　一〇戸（一種　二戸　二種八戸）

◎申込用紙　役場建設課にて。

◎申込受付期間
三月一〇日～三月二〇日

◎抽選日　三月二五日

◎入居予定日　四月一日

詳しいことは、役場建設課まで。

昭和62年中の火災概況

区分 / 市町別	建物	林野	車両	その他	計
水俣市	10	3		3	19
津奈木町	2	2		0	2
芦北町	4	1		1	4
田浦町	2	1	1	0	2
計	23	7	1	3	27

春季全国火災予防運動

「消えたかな！気になるあの火　もう一度」

「消えたかな！気になるあの火　もう一度」

二月二十九日から三月十三日まで火災予防運動が実施されます。

昭和六十二年中水俣芦北消防組合管内で二十七件（本町・二件）の火災が発生しています。原因別で見ますと、コンロの過熱四件、タバコの不始末三件、放火三件の順となっていますので、本町より一件の火災も出さないよう次のことを厳守して下さい。

一、寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
二、風の強いときは、たき火をしない。
三、子供には、マッチやライターで遊ばせない。
四、天ぷらを揚げるときは、その場をはなれない
五、家のまわりに燃えやすいものを置かない
六、ふろの空だきをしない。
七、ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

ご芳志お礼

地区　世帯主　故人
倉谷 福水 フサエ 正
浜崎 大園 米満 タヨ
上下門 平松 巳熊 シメ
古川 船場 満義 山下シズノ
日添 濱田 正久 開田惣吉
日当 佐々木 國光 真吉
日当 森本 スミエ 忠喜
大泊 椎葉 幸助 忠義
新川 濱本 太人 ミチエ

右のかたがたから町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封をご寄付くださいました。

（敬称略）

ご寄附お礼

○浜崎地区　大園伸三様
○芦北町　平萩利夫様
○染竹地区　野田慕子様
○中尾地区　農中三澄様
○内野地区　田上一智様
○芦北町　荒川臣六様

以上の方々から町美術品取得基金として、多額のご寄附を頂きました。

尚、早い時期に、ご寄附を頂きながら、お礼が遅れましたことを深くお詫び致します。

町職員人事異動

（　）内は旧職

一月一日付

▽企画課長（総務課長補佐）福島伸佳▽税務課長（税務課長補佐）川添耕生▽町民課長（企画課長）鶴野輝昭▽建設課長（篠原保智）▽国土調査室長（建設課長補佐）石田恒義▽総務課長補佐（教育課長補佐）福崎靖夫▽税務課長補佐（税・賦課第二係長）古川秀喜▽建設課長補佐（農・土地改良係長）川野雄一▽教育課長補佐（町民課長補佐）吉本洋二▽総務課総務係長（税・主事）真野邦雄▽企画課企画係長（総・主事）植田伸一▽税務課税務係長（収・参事）関タツ子▽税務課保険係長（町・参事）大川泰江▽町民課住民係長（税・参事）伊藤安子▽町民課福祉係長（町・参事）林田和幸▽町民課衛生係長（町・福祉係長）新立満寿美▽保育園保母主任（町・衛生係長）平野良子▽農林水産課林務水産係長（農・参事）日野　昇▽国土調査室記係長（企・係長）草野民生▽国土調査室（教・参事）篠原智子▽出納室参事（町・参事）川野みどり▽農業委員会参事（農・参事）松本スヤ▽国土調査室参事（建・参事）鶴野耕人▽税務課主事（町・主事）松本三郎▽農林水産課技師（建・技師）伊藤義治▽教育課主事（町・主事）森トムツ子▽国土調査室技師（建・技師）鶴山　広▽国土調査室主事（建・主事）平野新市▽町民課主事（総・主事）諫山吉光▽税務課主事（総・主事）椎葉正盛

（課付）
町民課付（町・課長）松本好栄▽建設課付（建・課長）開田　正▽保育園付（保・主任保母）西京子